

令和2年度学校評価の実施状況

学校名	那覇西高等学校
記載者名	宇地原 光

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	43	4	8	59

※その他 (用務・非常勤講師・PTA事務)

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	P T A役員	その他				計
実施人数	3	3	0				6

※その他

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	756	1013	0				1769

※その他

4 学校評価結果の公表方法等 (該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他 (職員会議で共有)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他 (職員会議で共有)

5 令和元年度の学校評価を踏まえ、令和2年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①いじめや暴力等の発生防止のため、兆候があった際に早急に集会を開いた。
②コロナ禍により部活動の時間が制限・短縮され、効率的な活動が行われた。
③コロナ禍による学校休業中、Webの視聴覚教材を利用し、家庭学習を働きかけた。
④国公立大学等への進学について、新たな入試制度に対応した進路指導を行った。
⑤トイレの清掃について、業者を入れて整備した。

6 令和2年度の学校評価で明らかになった課題

①部活動や学習活動の保障と在り方。
②アクティブ・ラーニングの視点に立った授業の実施。
③家庭学習の定着。
④コロナ禍での学校行事の実施。
⑤学力向上につながる授業と早朝講座の工夫。

7 令和2年度の学校評価を活かした令和3年度の改善点

①部活動や学習活動を保障するための工夫が必要である。
②アクティブ・ラーニングの視点に立った授業の研究が必要である。
③家庭学習の定着を図るため、授業と連動した課題作成の工夫が必要である。
④コロナ禍での学校行事における、感染症対策を施した実施の工夫が必要である。
⑤学力向上につながる早朝講座の工夫と授業公開をとおした授業改善が必要である。